

## 特別食概要

食種	適応病名	食事内容
【エネルギー調整食 炭水化物60%】 食事オーダーC60%	糖尿病 ※1:妊娠糖尿病 心臓病・脂質異常症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事区分は糖尿病食品交換表により作成している。</li> <li>・ 炭水化物エネルギー比を60%としている。 (たんぱく質エネルギー比17%、脂肪エネルギー比23%)</li> <li>・ 脂質の少ない材料を選び、油脂や砂糖を控えて、 焼く、蒸す、煮るなどの調理となる。</li> <li>・ 食塩は7.5gで設定してある。 (調理コメント対応で、塩分6g・塩分3gも対応可能である。)</li> <li>・ コレステロール300mg以下に設定してある。</li> </ul>
【エネルギー調整食 炭水化物50%】 食事オーダーC50%	糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食事区分は糖尿病食品交換表により作成している。</li> <li>・ 炭水化物エネルギー比を50%としている。</li> <li>・ 炭水化物の制限により、たんぱく質エネルギー比20%、 脂肪エネルギー比30%と高値の食事となる。</li> <li>・ 食塩は7.5gで設定してある。 (調理コメント対応で、塩分6g・塩分3gも対応可能である。)</li> </ul>
【塩分調整食】	心臓病・脳血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩分を6gに調整してある。</li> <li>・ 固さは、全粥食と同じ程度となっている。</li> </ul>
【塩分調整(嚥下調整食)】	心臓病・脳血管疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 塩分を6gに調整してある。</li> <li>・ 嚥下訓練の時の食事に適応する。</li> </ul>
【鉄分補給食】	貧血	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血中ヘモグロビン濃度が10g/dl以下でありその原因 が鉄分の欠乏に由来するものが対象となる。</li> <li>・ 高エネルギー、高タンパクにし鉄分を多くしている。</li> </ul>
【たん白調整食】	腎炎・腎不全・肝臓病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ たんぱく質を制限し、糖質、脂質よりエネルギーを補う。</li> <li>・ 塩分は6g以下。</li> <li>・ 指示により、カリウム制限ができる。</li> </ul>
【HD】 食事オーダー透析食	腎不全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 透析食は、血液透析療法中の患者に適応。 エネルギー、たんぱく質が調整され、食塩6g以下、カ リウム40mEq以下に制限した食事。</li> <li>・ PD食は、腹膜透析療法中の患者に適応。 食塩は6g以下に制限するが、カリウムは制限しない。</li> </ul>
【TOX食】	妊娠高血圧症	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高たんぱく、低食塩に配慮した食事。 各種ビタミンやミネラルも多く含み、薄味でもおいしく 食べられるように工夫してある。</li> </ul>
【脂肪調整食】	膵炎・急性肝炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脂質含有量の多い食品や、油脂を少なくした消化の よい食事。煮物を中心とし、蒸す、焼くなどの調理と なる。</li> </ul>
【易消化食】	消化器系疾患 (分回食が必要でない) 消化器系手術術後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 胃壁を刺激しない、消化の良い食事。</li> <li>・ 胃滞留時間の長い食品(バター、かまぼこなど)は 避ける。味付けは薄くし、香辛料は少なく、煮物中心 で、軟らかく調理している。</li> </ul>
【低残渣食】	潰瘍性大腸炎 クローン病	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消化管に負担をかけないで、消化吸収されやすい食 事。脂質や食物繊維の多い食品は制限し、軟らかく 調理している。</li> </ul>
【胃術後食】	(分回食が必要な) 消化器系手術術後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 術後の消化管に負担をかけないで、消化吸収されや すい食事。脂質や食物繊維の多い食品は制限して調 理している。</li> <li>・ 侵襲の大きな消化管手術の術後が対象となる。</li> <li>・ 分回食で対応する。(定時食+10時食+15時食)</li> </ul>

※1. 妊娠糖尿病:分回食の場合食事から6単位減らし、10時食・15時食・夜食を2単位ずつで対応する。(栄養管理部門へ電話連絡必須)

【濃厚流動食】（経管栄養）

※P13の経管栄養マニュアル参照

食種	適応病名	食事内容
食品扱い	メイバランス	・ 半消化態流動食（1ml⇒1kcal）
	ハイネーゲル	・ 消化態流動食（1ml⇒0.8kcal）
	アイソカル2K	・ 半消化態流動食（1ml⇒2kcal）
	グルセルナ	・ 糖尿病用流動食（1ml⇒1kcal）
	リーナレンLP	・ 腎疾患用流動食（たんぱく質1.0g/100kcal）
	リーナレンMP	・ 腎疾患用流動食（たんぱく質3.5g/100kcal）
	K-LEC	・ 半消化態流動食（1ml⇒1kcal）
	ブルモケア	・ 呼吸器疾患用流動食（1ml⇒1.5kcal）
	ペプチーノ	・ 消化態流動食（1ml⇒1kcal）

【大腸検査食】

大腸検査の 前処置食 1173Kcal	大腸検査食	・ 朝食 和風がゆ みそ汁
		・ 10時 粉末飲料(オレンジ) ソフトクッキー
		・ 昼食 中華がゆ すまし汁
		・ 15時 粉末飲料(アップル) ソフトクッキー
		・ 夕食 コーンポタージュ